

コミュニティ開発 マスunga 平成25年度4次隊

こんにちは。私は、青年海外協力隊として2014年3月からボツワナで活動をしています。この記事では、私の住んでいる村マスungaと、私の活動についてご紹介したいと思います。

○マスunga村

マスungaはボツワナの北東に位置し、隣国ジンバブエとの国境近くにある村です。首都ハボロネから約500km 離れています。ボツワナでは列車は貨物車しか走っていないので、首都からマスunga村に行くにはバスで7時間かかります。人口は約5500人。この地域の県庁所在地にあたる村で、県庁にあたる行政組織や学校、病院といった施設が存在しており周辺の村よりも少し大きな村です。スーパーが一軒だけあります。このスーパーは村人にとって、そして私にとっても日々の食料を得るための重要な存在です。道路は舗装されていますが、信号は一基もありません。村のあちこちで家畜の牛やヤギ、鶏、ロバが歩いているのどかな所です。

ボツワナには複数の民族が住んでおり、主要民族はツワナ族です。マスungaを含めた北東地域にはカラング族が住んでいます。カラング族は一般的にツワナ人よりも背が高く肌の色が黒いです。カラング語をはじめとして独自の文化を持っています。



マスunga村の位置



村の様子□



村の様子□(牛)



村の様子□ (木陰で休むロバ)

○活動

私は県庁にあたる組織の地域振興課に配属されています。ボランティアとしての仕事は「貧困撲滅プロジェクト」のモニタリングです。「貧困撲滅プロジェクト」とは政府が仕事がない貧しい人に対して研修や機材を提供し、自分でビジネスを始めることができるようサポートをするプロジェクトです。私は、このプロジェクトの利用者を訪ねてビジネスは上手くいっているか、何か問題はないかを聞いて、アドバイスやお手伝いをしています。利用者はシングルマザーがほとんどです。小さな村に住んでいて、ビジネスを始めてもお客さんが来ない、マーケットのある街に出るには交通費がかかるといった問題を抱えている人が多いです。それでも、ビジネスを始めてから収入が得られるようになって、自分の家を建てたり、子供たちの食費や学費を払えるようになったと喜んでいる人もいます。一生懸命に頑張っている女性達を見ていると、私もできる限り力になってあげたいと思います。



職場



プロジェクト対象者の住む村へ向かう道



プロジェクト対象者達の作品□



プロジェクト対象者達の作品□